

印刷物をスキャニングして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

操作のしくみと表示の見方 (Aボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります)

時刻モード

時刻モードの表示: 曜日 月 日, SU 6:30, 10:58:50, 時 分 秒

★ライト点灯
Aボタンを押すと約2秒間文字盤が点灯します。

★曜日の見方
曜日が英語頭2文字を表示します。
SU:日 MO:月 TU:火 WE:水 TH:木 FR:金 SA:土

★12/24時間制表示切替
Bボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後P)と24時間制表示(24)が切り替わります。

操作: Cボタン(モード切替), Aボタン(ライト点灯), Bボタン(12/24時間制表示切替)

アラームモード

アラームモードの表示: モード ライト点灯, RL 6:30, 12:00, アラーム時刻

タイマーモード

タイマーモードの表示: モード ライト点灯, TR 10:58, 2:30:00, タイマー時間

ストップウォッチモード

ストップウォッチモードの表示: モード ライト点灯, ST 10:58, 00:00:00, 計測値

ライト点灯について

Aボタンを押すと約2秒間文字盤が発光します。



※発光しているときにもう一度Aボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。
※どのモードのときでも点灯します。

＜ご注意＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これは発光の際のELパネルの振動音であり、異常ではありません。

「各モードで何らかのボタン操作*を行ったあとにAボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。
*アラームモード、タイマーモードでのライト点灯は除く」

アラームの使い方

●アラーム時刻の設定

- (1) Cボタンを押します
- (2) Aボタンを押します
- (3) Bボタンを押します

①ボタンで設定したい箇所を選び、Bボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、アラーム時刻を設定します。

- 「時」の午前/午後(P)にご注意ください。基本時刻が24時間制のときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。
- 「時・分」に加え、「月・日」を設定すると、報音タイミングが以下のように変わります。
「時・分」のみ…毎日、指定時刻に報知
「時・分・月」…指定月の毎日、指定時刻に報知
「時・分・日」…毎月の指定日、指定時刻に報知
「時・分・月・日」…指定月日の指定時刻に報知

(4) セットが終わりましたら、Cボタンを押します

一点減が止まり、セット完了です。
※点減表示のまま2～3分間すると自動的に点減が止まります。

●アラーム・時報のON/OFF設定

アラームモードのとき、Bボタンを押すごとに、アラームマーク・時報マークが点灯/不点灯を繰り返します。
※マークが点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。

●鳴っている電子音を止めるには
A/B/C/Dボタンのいずれか1つを押します。
(アラームモードで操作後、A/B/C/Dいずれかのボタンを押すと、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。)

タイマーの使い方

●タイマー時間の設定

- (1) Cボタンを押します
- (2) Aボタンを押します
- (3) Bボタンを押します

①ボタンで設定したい箇所を選び、Bボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、タイマー時間を設定します。

- タイマー時間設定のとき、Aボタンを押すごとに「リレポート計測」と「オートリレポート計測」が切り替わります。
「リレポート計測」…タイマー時間を1回のみ計測
「オートリレポート計測」…タイマー時間を繰り返して計測
※オートリレポート計測は「---」が点灯します。
- タイマー時間を「24時間」にするときは「0:00:00」にします。

(4) セットが終わりましたら、Cボタンを押します

一点減が止まり、セット完了です。
※点減表示のまま2～3分間すると自動的に点減が止まります。

●タイマーの使い方 (減算計測のしかた)

Cボタンを押します

★計測中にBボタンを押すと計測が一時的に中断します。もう一度Bボタンを押すとその時点から計測を再開します。

★計測中にCボタンを押すと計測を中断し計測前の表示に戻ります。

(タイマーモードで操作後、A/B/C/Dいずれかのボタンを押すと、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。)

印刷物をスキャニングして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

<p>ストップウォッチの使い方</p>	<p>●計測のしかた</p> <p>③ボタンを押します → ストップウォッチモードのとき、③ボタンを押すと計測が開始します。</p> <p>③ボタンを押して、ストップウォッチモードにします</p> <p>ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99 (24時間計)まで計測できます。(計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。)</p>	<p>★計測中に③ボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度③ボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)</p> <p>★計測中に④ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。</p> <p>※計測値を0に戻す(リセット)には、計測終了後③ボタンを押します。</p>	<p>★通常計測</p> <p>③ → ③ → ④ スタート → ストップ → リセット</p> <p>★スプリットタイム (途中経過時間) の計測</p> <p>③ → ④ → ④ → ③ → ④ スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット</p> <p>★1・2層同時計測</p> <p>③ → ④ → ③ → ④ → ④ スタート → 1層ゴール(1層タイム表示) → 2層ゴール → 2層タイム表示 → リセット</p>
---------------------	---	---	---

<p>時刻・カレンダーの合わせ方</p>	<p>●秒の合わせ方</p> <p>(1) 時刻モードのとき、④ボタンを押します → 「秒」が点滅します。</p> <p>(2) 時報に合わせて③ボタンを押します → 00秒からスタートします。</p> <p>(3) ④ボタンを押します → 一秒の点滅が止まり、セット完了です。</p> <p>秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です。)</p>	<p>●時刻・カレンダーの合わせ方</p> <p>(1) 時刻モードのとき、④ボタンを押します → 「秒」が点滅します。</p> <p>(2) ③ボタンを押します → 「秒→時→分→年→月→日→秒…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を④ボタンで選びます。</p> <p>(3) ③ボタンを押します → ③ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。</p> <p>④ボタンで設定したい箇所を選び、③ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。</p> <p>●「時」の午前/午後 (P) にご注意ください。</p> <p>●「年」は、1995~2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日(時刻・カレンダーモードで表示)が算出されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。</p> <p>(4) セットが終わりましたら、④ボタンを押します → 点滅が止まり、セット完了です。 ※点滅表示のまま2~3分間すると自動的に点滅が止まります。</p>
----------------------	--	--